



ママゴンにささげるバラード⑥
かわいそらなアーティスト

岡田 淳



このごろの私と音楽

伊藤ルミ

布野ゆき子

《ピアニスト》

《ピアニスト》

★ボーランドで恋はしてきたの？

布野 日本では道を歩いているとあちこちからピアノの音が聞こえてくるでしょ。ピアノの売れる方は世界一だつていうし、これから日本のピアノ界は明るいなと希望を持つちゃう。

伊藤 でも幼稚園から小学校の一、二年くらいまではみんながしているから私もピアノを弾いてるって感じで、ほとんど途中でやめしまってたみたいね。

布野 この次はこれを練習してそれがすんだらこれ……というレッスンじゃなくて、先生がピアノを弾いて聴かせて、音楽ついいいなあ、ピアノつきれいだなあって感じさせればいいんですね。

伊藤 そうそう。別にピアニストにならなくとも、音楽が好きな人が増えて欲しいと思うわ。

布野 ピアニストになろうと心に決めた人たちは、まず技術的に素人でなく……と勉強する必要はありますけどね。

伊藤 それがむづかしいのね。小さな時にあまりに技術を仕込むとピアノが嫌になっちゃうし、好きなように弾かせてるとプロになろうと思う頃には時期的に遅かったりで……。

布野 表現する手段が身についたら、こんどはそれを使つて人の心にやさしいものを呼び起こすような、なごやかにさせるような演奏をする演奏家になることで、感心させる演奏家であるだけじゃなくてね。

伊藤 そんな気持ちで弾いたら無理なく続けられるし。感心させようなんて思つてたら自分のほうがしんどくなっちゃう。ところで布野さんは何年くらい留学してたの。

布野 三年間ボーランドに行つてて、一昨年の十月に帰つてきたんです。

伊藤 ボーランドってのはショパンが好きだから？

布野 まあそうですね。だけど言葉はもちろん風俗、習



慣がちがいますでしょ。だから不安があつたんだけど、行つてみると、ボーランドへ勉強に来ている外国人はかなりいてね、その人たちいろいろ話もできたりしてずいぶん恵まれてたと思つます。半年ぐらは慣れなくてホームシックにかかつたりしたけれど。

伊藤 ボーランドで恋はしてこなかつたの？

布野 ……何で答えたらいいのかしら……

伊藤 してきたみたいな顔したよ、今。(笑)……音楽的な環境はすいぶん日本とはちがうでしょ。

布野 高い木のある公園が街のあちこちにあるんですけど、そのなかでもショパンの銅像が建つてる○○○公園では暖かくなると日曜日ごとに野外コンサートが開かれます。ショパンばかり演奏されてね。人々が集まつてきて、芝生に寝ころんでたり、ウツトリ目をつぶつて聴きほれてたり。心から音楽を楽しんでるって感じが

素朴でいいなあと思いました。静けさのなかから音楽が生まれてくるんですね。日本は何もかもがせかせかと活動して、じつくり落ち着いて、ゆつたりと自然のなかに帰る心がないみたいね。

伊藤 私は野外のステージで弾いたことはないけど、開放的でしようね。

布野 虫が飛んできたりね。野外だけでなく、小さなサロンドとかいろいろ弾く機会がありましてね。だけどこちらがチケットを売らなければならぬということはないんです。私の場合、大学を出るまで音楽会でいえばその会場へ行つて弾けばよいだけで、そのコントロールに気を使うだけよかつたのですよね。ところが、大学を出て初めてリサイタルを開いて、チケットを売らなければならぬということがたいへんだったわ。

伊藤 それが練習よりもたいへん。でも人間関係が広くなつてね、最近、多少は音楽に関係してたけれど、そうでない人たちとの人間的なふれあいが多いみたい。本当に楽しみで聴いている人から演奏してた側からではわからないようなことを教えてもらつたりしてね。



伊藤 ルミ

神戸生まれ。70年松蔭女子学院短大英文科卒。6才年に開いた東貞一氏に師事。68年にデビュー。リサイタルを多く開く。以後数多くのリサイタル、コンサートに出演。最近は、今年4月に大フィルと共演し好評を得た。

(にしむら珈琲北野店にて)



布野ゆき子

神戸生まれ。62年、全日本学生音楽コンクール西日本第一位。72年、相愛女子大ピアノ専攻卒。75年、ボーランド・ワルシャワ国立音楽院卒。同年10月に帰国。今月8日に県民小劇場でリサイタルを開く。

★新しいテクニックを。作曲家の心を。

伊藤 今年四月の演奏会で、今まで進んできた方向をちょっとストップして、別のものを付け加えたいなと思つていまそれをさがしてます。音楽性よりもテクニックの方がまさつてるといわれて、どうしたらハートが入るかとか、音楽性とか内容とか音楽のなかのことを今までやつてきたので、テクニックも少し古くなってきたのではないかと思つて、新しいテクニックを取り入れたいですね。

布野 私の場合は、ボーランドにいた時は週に二回のレッスンがあつたり、友人の演奏を聴いたりとか、音楽だけに専念できてとても恵まれてたけれど、今はそんな環境でなくて、先生もなく、とつても孤独に自分だけでピアノを弾いてる感じ。いろんな作曲家の心を知るというか、そんな勉強がしたいと思ってるんです。



映画からみどりを吸いました

（映画評論家）

長田の旧制三中の出来たてのころの私はその三回生。昭和の初め。その三中の校舎の裏はみどりの森。べんとう箱にいっぱい（やまもも）をつめこんで持つてかえつて叱られた。虫がついているから塩水でよく洗いなさいと注意された。私はあの（やまもも）の黒いくらいの赤い色が好きだった。そのころよく宝塚へ行った。阪急に乗るのが好きだった。つぎはタカラヅカ、車しようがサラリーマンみたいな顔でそう一箱づつ言つて廻る。このお荷物はどちらさまで。そう言つて（ボクの）と言うとあみ棚からいちいち車しようが下してくれた。宝塚にゆくと「モン・パリ」でも「フッピー」でも「ニューヨーク行進曲」でもエッちんタッちんというデュエットの歌手が巧くてそのジャズも楽しかった。幕合いで食堂にゆくとそのテラスの眼下はきれいな川が目いっぱい。スズメとカラスとオナガドリが河原をピヨコピヨコ歩いていた。川の向うは林だった。五月六月はその林がみどりを輝かせて青空が美しくてセミの声が聞えだして、ああ夏休み近しと胸おどさせてのピクニック・ムード、その川のゆるやかな流れを見下ろしながらブロードウェイのヒット・ミュージカルの一斬新しいジャズの「フッピー」の今さつき舞台で聞いたメロディが口に出る。宝塚は不思議なシャンゲリラ。自然の風景にひたりながら、まつびるまにブロードウェイの宿のステイジに連れてゆく。そしてそこへ御案内の阪急電車のロマンス・カーの客がみんな谷崎潤一郎の文章を思わず（あんたも見にきてで

したん）とお母さま同士が娘を互いに紹介しながらのきれいな（ちりめんのふろしき）をひざの、そのお母さま族の着物がまたきれいだった。……とこうぎゅうぎゅう詰め書きこんだのはこの二頁の映画の頁、けれども（阪急）とひとことそう小泉編集女史に囁かれただけでもう最初の五行のつもりがこうもなつてお読みづらいは承知のうえ。だつてもうあと半分しか映画は書かれへんもん。

アラン・ドロンの「友よ静かに死ね」はギャング映画というのにその始まりから（みどり）の田舎の木造別荘。こじんまりした古めかしい木造りの家。ここに（男たち）が集まるその（友達）の心と心のぬくもりが、みどりのフランスの風景の中で一層美しかった。

カトリーヌ・ドヌーブの「愛よもう一度」はルルーシュ監督。フランス・レイの音楽、アヌーク・エイメ共演というのでレスピアン・ロマンと思つき、「マダムX」「母の旅路」をひとひねりした（母もの）映画でびっくりさせる。十六年の刑を終えて出てきたドヌーブが十六才になつてゐる我が子をさがし出し、ドヌーブが働いているお店のおばさまに打ち明けてその子を夏休みだけの約束で（さと親）として引き取りました。その家が海のそばで夕陽が海を染めその海を子供と二人で見つめながらのこの母と十六才の実の男の子。この子は寄宿学校の友達に手紙を書いた。「この家のおばさんは美人なんだ。ボクに惚れているらしいんだ。ボクこの女やつちや

おうと思つてゐるんだ。フランスの海はやさしく美しい
それにこの別荘の庭のみどり。

シルビア・クリステルを使つたロジエ・バディム監督
の「華麗な関係」は（自分が苦しむか他人を苦しめる
か、恋とはそういうもの）なんてカッコいい文句から始
まる一八二六年の春の物語。パリから馬車で疲れるくら
い走つたところに侯爵夫人のお城があつてそこに若いき
れいなマチルド夫人という富豪の若妻が泊つていて、こ
の（恋）も（いろ）も知らぬ女をジョン・・フィンチ扮す
る遊び人とナタリー・ドロン扮する遊び女が（いろ）の
苦しみ楽しみを教えてフィンチに犯させるたくらみ。か
かるカマトト・ドラマはどうでもいい。見てのお楽しみ
はクリステルのオッパイ。残念でしたそれよりもっと
美しかつたのがこのフランスのさびれたごとき古めかし
さを匂わせる自然の風景。みどりは淡く、みどりは濃

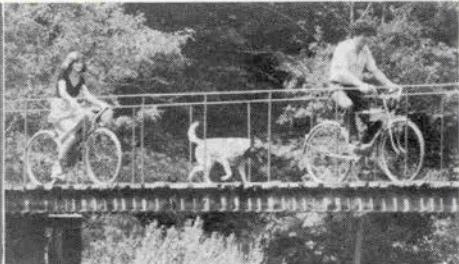
く。野の花が絹のししゅうの美しさで色どり美しく咲き
乱れフランスの自然のそのやわらかな美しさに見とれき
る映画。

「愛のかけ橋」：これは「ビリー・ジョー・愛のかけ
橋」と題されていて十八の男の子と十六の女の子の恋。
ところがこの十八才ビリージョー（ロビイ・ベンソン）
が男にからだをけがされて入水自殺してしまうミシシッ
ピー南部の伝説バラード（ものがたり歌）の映画化。

その一九五三年のアメリカ南部の田舎の風景。大きな
川に木造のがつしりした橋。森も川も橋もが大きくて、
それでこの村びとの住む家のなんたる簡素。十六才の少
女ボビー（グリニス・オコナー）の夢見ているのは私
の家にも水洗便所。けれどもこのアメリカの南部のみど
り目にしました。

愛よもう一度

友よ静かに死ね



愛のかけ橋 ビリージョー



華麗な関係



女体自画

ダブルベッドの女

細川ただす

えと文

鮎子と友子とは、私の行きつけのバーの姉妹ママである。彼女達は三十近くで独身だが、別々のマンションにひとり暮らしで、それぞれダブルベッドに寝ていた。

独身のホステスが、何故ダブルベッドに寝ているかについては、賢明な読者がいくら想像をたくましくしていただいてももちろん結構である。実際問題として、二人が一緒に住めば何かと便利がよく経済的なのが、姉はしまつ屋で、妹は浪費家という性格の違いから、ついけんかになり、そんな訳で別れて暮していたのだ。

一日にダブルベッドといつても、姉の鮎子は、枕元に本棚のついた実用的なベッド、妹の友子のは、ムーディーで世界一ソフトと評判の高級品だった。

午前様で仕事からヘトヘトになって帰って来て、短時間の睡眠で疲れをとるには、大の字になつて、ゆつたり出来る広さを求めてダブルにした。

二人はやせてはいたが、長身で、大柄な女だったから、いくら細身といつても、やはりそこは女、骨ばんのはばは広く、熟睡した女の悪い寝そを安全に支えるためには、ダブルベッドが実際に必要だったのだ。ほんとに彼女等は、それでも広いベッドから、ずり落ちそうになることがあるのだから。

二人はよく似ていて、鼻筋の通つた美ぼうだが、一口でいうと、ローランサンのかく絵の女のように夢見心地の目をしているからこんな目になった訳ではなかろうが……。それに何といっても、二人とも身長一六六センチメー

トルの柳腰で、それもいかに美形かは、姉の方の腰を眺めながら妹の腰を抱けば最高という、客達のもつぱらの評判なのである。

＊

そんな姉妹の姉の鮎子から突然「先生。ダブルベッドいりはれへん？」とおりあえず友子のベッド

と電話があつた。

聞けば、今までし送りしていた田舎の母も呼んで、姉妹一緒に、小さいながらも一戸建ちの家に住もうということになり、マンションを引払うことになつたというのだ。ひとり六畳一部屋になるので、洋服ダンスや整理ダンス……などを入れると、ダブルベッドをそれぞれ入れる余地はないというのだ。

我家では、シングルベッドをツイン風に離して寝ていたのがちょうどスプリングがいたみにいたみ、寿命が来て、何とか買いかえたいと思つて、矢先、願つてもない話だ。ベッドのバネがバラバラになり、寝ていてる間に、スプリングが胸にあちこちくい込んで丸い穴をあばらにあけかねないほどのいたみ方だから新調したいのはやまやまだが、何しろ物価の値上がりで、シングルベッド二つ買いかえられる我家の経済状態ではなかつた。中古とはいえベッドを安くわけてあげるという電話である。願つてもないことだ。

「ぜひわけてよ！」

と、私は即座に返事をした。妹の方の、豪華で世界一ソフトなダブルベッドがいかに大きくとも、我等夫婦が、

その巨体を同時に沈めるには、せますぎベッドが氣の毒な氣もしたが、しかし、この際、ツインだダブルだとせいたくはいっておれぬ。

新婚時代を思い出し、一かたまりとなつて久しぶりにダブルベッドに寝るのもまたよからずや？

＊

＊

レンタルトラックを借りて私は彼女のマンションを訪ねた。一人住いとはいえ豪華なマンションにふさわしい立派なダブルベッドだった。しかもほとんど、よこれでいのいのには驚いた。

それ以上に、何より驚いたのは姉妹の物に対する思い切りのよさである。

ベッドだけでなく、テーブル、電子レンジ、タンスの類まで、余る物は何でも、姉妹の両方のマンションからトラックに満載して我家に引きとつたのである。

彼女等の思い切りのよさのおかげで、我家は、にわか

に家具や調度でみちみちることになつたのである。

しかし、私のベッドルームだけは、ツインベッドがダブル一つに変り、広々すると楽しみだつた。今夜は一つダブルベッドで妻と久しぶりに一戦を……と思つたとたん、追い打ちをかけよう、姉の鮎子からの電話



「ダブルベッドの女」

もちろん題は

私は姉の鮎子がおまけに妻は、妹の友子のいい方のベッドを占領し、ただでくれた背中の痛くなるベッドに寝ることになつたのだ。

ああっ！ た

だほど恐ろしいものはない。

私は今、腰の治療にハリにかよつてている。

であった。

「先生！ 私のダブルベッドもいらないわ。よかつたら、今すぐ引取つて下さる？ たでいいから。」

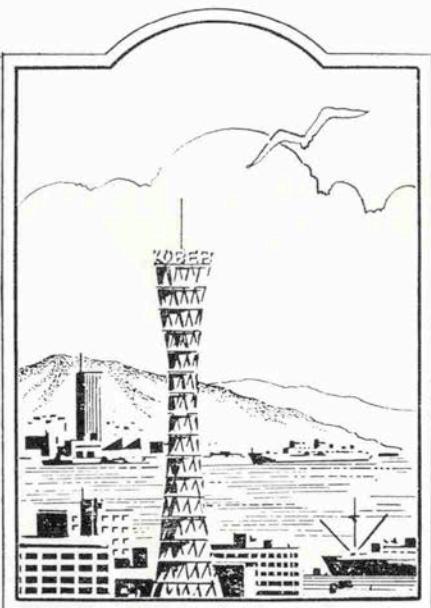
ただといわれて、いやとはいえたかった。

私は、早速、その足でレンタルトラックを、今一度、姉のマンションへ走らせていた。

レンタカーの借り時間を少しでも節約するために大急ぎで……。ダブルベッドの女達は、この際、過去の思い出にまつわる品々と全面的に訣別したがつてゐるよう思えてならなかつた。

その夜私は、久方ぶりにダブルベッドで寝られるという期待も消えて、足を踏み入れるすき間もないほどに寝室を占領した百疊じきのよう馬鹿広い二つ並んだダブルベッドのマットの上にあぐらをかいて、締切のせまつたこの原稿を書くはめになつたのだった。

マイ神戸、マイホテル



潮風が詩い、ファッショングが踊る。ミナト町
神戸のロマンチックな想い出は、神戸タワー
サイドホテルから——エコノミカルな料金
システムや、神戸を代表するシーサイドレス
トランで楽しめるヨーロッパの味。あなたの
旅のいち日を、心をこめてお迎えいたします。
シングル￥2,500～￥3,800 ツイン￥6,000 ダブル￥6,800



神戸タワーサイドホテル

〒650 神戸市生田区波止場町1
TEL (078) 351-2151 (代)

ふと感じた貴女の輝き



顕微鏡・天体望遠鏡・航海計器・光学器一般

服部メガネ店

神戸・大丸前 TEL 331-1123

ジャズ界最大のビッグ・イベント
「第9回 合歓ジャズ・イン」

日時 7月23日(土)7:00PMから

7月24日(日)5:00AMまで

会場 合歓の郷野外ホール

(三重県志摩郡浜島町)

料金 前売り 4,000円 当日売り 4,500円
(入郷料サービス) ヤマハ友の会3,600円

ジャズ・ファン待望の「合歓ジャズ・イン」が今年も近づいて来ました。ジャズ・インは、日本のジャズ界最大のビッグ・イベント。ジャズの大御所がぞらりと顔を揃えます。渡辺貞夫、山下洋輔、日野皓正、デキシーオールスターズらが、夕刻7時から翌朝5時までぶつ通しで競演します。最高のジャズを聴かせるスイングの祭典で、ジャズの真髄に触れ、たっぷり酔いしれて下さい。

こうべヤマハ友の会とは？

こうべヤマハ友の会はこんなところです！

こうべヤマハ友の会はみなさまと一緒に

素晴らしい余暇の世界をつくりあげようとする

新しいタイプの集いです。

有意義で充実した日々をお約束します。

気になるにぜひ、ご参加ください。

●5つの魅力

1. 音楽からレジャーまで価値ある世界にお誘いします

こうべヤマハのコミュニティ誌「Musication」と最新のヤマハレジャー雑誌「エピキュリアン」を毎月お届けします

2. 創造的な“あそび”が追求できます

3. いち早く身近な情報が得られます

4. ヤマハのビッグイベントへご優待

5. 充実した余暇をお楽しみいただけます

年会費 2,000円より

●お問合せ・お申込みは ヤマハ神戸支店企画推進プロジェクト/神戸市葺合区浜辺通6丁目 ☎(078)232-1111
ヤマハ神戸店インフォメーション/神戸市生田区元町通2丁目 ☎(078)321-1191

屋久島・鬼界ヶ島で豪華なリゾート・ライフを！



磯釣りの天国—屋久島

屋久島全島が磯釣りの天国と言ってもいいほど。初めての方でも釣りの醍醐味を味わえます。イシダイ、メジナ、フエフキダイなどの大型魚がかかる釣り場が点在しています。初心者からベテランまでとっくと釣りの醍醐味を堪能してください。

お泊りは「石蕗の舎」(つわのや)

鹿児島県熊手郡上尾久町字永田松之浦 ☎099745-2211



史蹟を訪ねる—鬼界ヶ島

平家物語のなかでも名高い「鹿ヶ谷の謀反」の罪で、この島に流された俊寛の哀れな末路にまつわる史蹟が島のあちこちに点在します

お泊りは旅荘「足摺」

鹿児島県鹿児島郡三島村硫黄島 ☎099132-20

鹿児島から南西諸島へは双発10人乗りのアイランダー、そして、島から島へ快速クルーザーを使ってのトローリングが楽しめます。

こんにちは赤ちゃん



白石雅一くん / 東灘区岡本

完全看護★冷暖房完備★病院前駐車可能

芦柿沼産婦人科



芦屋市大沢町1番18号
国道芦屋川電停東50米(明治生命南)
☎ 芦屋 (0797) 31-1234 代表

幼児歯科 小児歯科

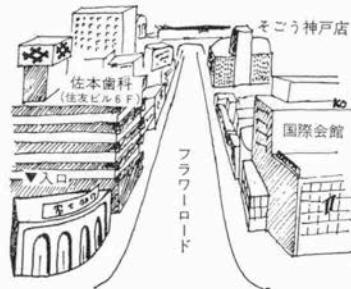
SAMOTO PEDIATRIC DENTISTRY

佐本小児歯科

母親教室

(初診日) 火曜日 午前9時30分
金曜日 午後1時30分
(木曜日は休診)

そごう前センター街東角・さんちか入口
住友銀行三宮ビル6階
〒650 生田区加納町5丁目39
TEL (078)331-6302~3



みつめられる ファッション回廊
神戸・三宮 サンロイヤル
さんプラザ10F
ファッションジョイアベニュー

いま、ヤングレディの視線が.....
ハンバーグ & グラタン
ばるーん

TEL. 331-5520
NEW:TOKYO姉妹店



イタリコ

ピザバー

NEW:TOKYO

イタリコ

さんちかサロンタウン
TEL. 391-5069